

しまんとしんいちじさんぎょうかぶしきがいしゃ
しまんと新一次産業株式会社

～農業で四万十を元気に～



豊かな自然が残る大正地区



無農薬栽培で育った栗

経緯

- 四万十町を含む北幡地区では、約50年前まで約800t生産されていた栗が、農家の高齢化等により激減。
- 生産から加工までを地区内で行い、所得向上、雇用確保による地域活性化を目指すため会社を設立。

取組内容

- 昔から続く地域の情景と自然を守るため、超低樹高栽培による無農薬栽培を実施。
- 平成29年に加工場の建設、栗の加工販売を開始。
- 耕作放棄地を栗園に転換。

活動の効果

- 水田を栗園に転換することに対する地域住民の理解が広がり、耕作放棄地の解消にも繋がっている。
- 四万十町全体の栗生産量拡大。
- 自社の栗園の生産量、加工場におけるペースト加工販売による売上拡大。

応募団体からのアピール・メッセージ

昔から大きく甘い栗が採られてきた地域を、栗で再生し地域の人や若者が誇りをもって豊かに暮らしていけるよう取り組んでいきます。